

横田ゆうさんに大きなご支援を

親身に相談にのる介護の専門家

横田ゆうさんは長年、在宅サービスセンターで区民からの相談に親身に応じながら、いまの介護保険制度では解決できない課題を組合として区や都、国に改善を求めて来ました。

足立区が全国に先がけて行なってきた介護職員への勤続表彰制度も請願書を提出して実現に寄与しました。横田ゆうさんを心から応援します。

福祉職場組合役員 國米 秀明

プロフィール

- 1961年（昭和36年）1月4日福島県生まれ
- 福島県喜多方女子高校、東北福祉大学社会福祉学科卒業
- 紫磨園、地域包括支援センターで介護士、ケアマネージャーとして25年勤務
- 資格：介護福祉士、社会福祉主事任用資格、介護支援専門員など
- 趣味：ガーデニング、音楽鑑賞
- 家族：夫 子ども3人

活動地域

舎人1~6 入谷1~9 古千谷本町1~4
伊興1~5、西竹の塚1~2
東伊興1~4、伊興本町1~2
西伊興1~4、谷在家1丁目
竹ノ塚1~4、六月1~3
島根2~31~38番

安心して任せることのできる人

横田ゆうさんは福祉、介護の専門家です。これまで現場の立場から介護保険等の意見を寄せてきました。

また、社会保障推進協議会の会長として社会保障拡充の運動に取り組んできました。

こうした頼もしい区民の味方はどうしても必要です。私に倍するご支援をお願いします。

区議会議員 針谷みきお



憲法9条を守り、生かす！
誰もが人間らしく生きられる社会を



横
田
ゆ
う

足立地区くらし・福祉・介護の相談室長
祐

横田ゆうさんを推薦します

- 早乙女 勝元（作家）西伊興在住
- 池内 政一（東京土建足立高友会会長）
- 深沢 弘亘（元福祉事務所 ケースワーカー 介護保険をよくする会事務局長）
- 高橋 昭一（元中島根小学校校長）
- 足立 史郎（竹ノ塚第一団地自治会長）
- 吉永 栄子（水泳クラブ <じら事務局>）
- 市井 厚子（足立母親連絡会事務局長）
- 吉田 香代（新婦人あぜみち班 班長）
- 古川よし子（ほくと医療生協理事）
- 小倉 正司（元入谷中学校PTA会長）
- 小太刀静子（詩吟教室講師）
- 古渡 秀雄（居宅介護事業者経営）
- 小林芳一郎（足立西民主商工会事務局長）

私は福島県喜多方市で3人姉妹の長女として生まれ、大自然の中で育ちました。

日本共産党と出会ったのは大学時代、戦前から命がけで戦争に反対していた政黨があった事を知りすぐに入党しました。卒業後、足立区内の介護施設や地域包括支援センターで25年働いてきました。

今、区民の生活が苦しくなってきていることを肌身で感じています。くらしと福祉を充実させるためには憲法を生かし、政治を変えていきたい、その思いでいっぱいです。どうぞよろしくお願ひいたします。

メール: yuyokota2008@yahoo.co.jp

新あだち 新あだち社 足立区日の出町27-3-1130 鈴木秀三郎
2018年11月号外 日本共産党足立地区委員会の見解を紹介します



日本共産党

会津の造り酒屋の長女に生まれ 大自然の中でもっすぐに育つ

母親として三人の子を働きながら育てきました。庶民の苦労がわかる政治家です。

三人の母親として



福島会津地方の山都町（現在は喜多方市）の造り酒屋の長女として生まれ育った横田ゆうさんは、まっすぐに育ちました。

写真左は3歳頃、
写真右は小学生の時、稻刈りの手伝いする横田ゆうさん



中学時代はバスケットボール部で心身を鍛え、高校では山岳部、美術部で活躍。



東北福祉大学時代は社会福祉を学びました。

サークル活動は社会科学研究会で活動し、反核平和の記録映画「にんげんをかえせ」の上映にも取り組みました。

入谷地域の学校統廃合は中止に

2016年、区教委は入谷南中と入谷中を統廃合する計画案を発表。パブリックコメントには575件の反対意見が出され、「学校統廃合を考える会」が結成され、教育長への申し入れも行い、計画案は撤回されました。



教育長に統廃合計画の見直しを申入れ

交通不便地域にコミュニティバスを



交通不便地域には区が財政支援しても、コミュニティバスを新設すべきと実現をせまっています。



第37回ささのはまつりで司会をつとめ 吉良よし子参院議員、斎藤まりこ都議らを紹介。

23区で一番高い、介護保険料を変えるために



入谷南小学校のPTAとして活躍

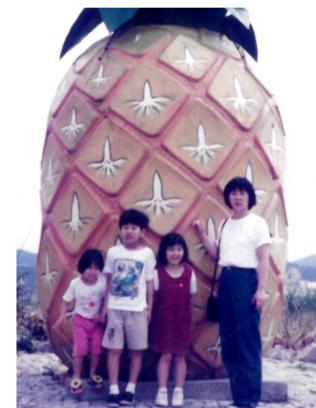
入谷南小学校のPTAの時代、「入谷南小学校を存続させる会」をつくり活動（卒業式にて）



ケアマネとして25年



入谷の特養ホーム紫磨園のケアマネージャーとして入所者の高齢者に寄り添う横田ゆうさん。（納涼大会にて）



ブラックな働き方の改善を



横田ゆうさんは、福祉保育労働組合の副委員長として、職場の労働者を守るために奮闘。賃金アップや待遇改善、介護保険制度の改善など労働者の頼もしい見方として頑張ってきました。